取扱説明書

DVD/CDラジカセ

ディ・ブイ・ディ

商品型番：DVD-8150

お買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をお読みください。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。
この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

本製品は安全に十分配慮して設計されていますが、まちがった使い方をすると、
火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

●安全のための注意事項を守る。

4～8ページの注意事項をよくお読みください。
製品全般の注意事項が記載されています。

●定期的に点検する。

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。

●故障したら使わない。

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐ総発売元株式会社クマザキエイムへ修理をご依頼ください。

●万一、異常がおきたら…

①電源を切る。
②電源プラグをコンセントから抜く。
③株式会社クマザキエイムに修理を依頼する。

警告表示の意味

取扱説明書には次のような表示をしています。
表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

【記号の意味】

△ の記号は「注意（警告を含む）をうながす事項」を示します。

⃠ の記号は「してはいけない行為（禁止事項）」を示します。

● の記号は「しなければならない行為」を示します。

ご使用になる前に

接続と準備

基本的な使い方

その他

⚠ 警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

交流100V以外の電圧では使用しない
自動車、船舶などの直流電源には接続しないでください。
火災・故障の原因になります。

コードをコンセントから抜く
雷が近づいたら、電源プラグをコンセントから抜いてください。

ACコードを傷つけないこと
コードが破損し、火災・感電の原因になります。

分解禁止
この機器を開けたり、改造しないでください。
火災・故障の原因になります。

DVDプレーヤーのピックアップレンズをのぞき込まない
レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

水ぬれ禁止
近くに水の入った花瓶などを置かないようにするとともに、水がかかるような場所では使わないこと。水などが中に入った場合、火災・感電の原因になります。

内部に小さな金属類(ヘアピンなど)や燃えやすいものを入れない
火災・感電の原因となります。

ぬれ手禁止
ぬれた手でACコードの抜き差しをしないこと。感電します。

本体背面の通風孔をふさがないでください
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。

点検・修理
万一、本体を落としたり、キャビネットを破損した場合は、点検修理を依頼してください(有料)。そのまま使用すると火災等の原因となります。

乾電池は同一の新品を使用
仕様の異なる電池や使用した電池を混ぜて使用すると、液漏れにより汚損や故障の原因になります。

注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

ぐらついた台や傾いた所に置かない

落下しケガ・故障の原因になります。

温度の異常に高い場所で使用しない

また、通風孔をふさぐと内部温度が上昇し、火災・故障の原因になることがあります。

調理台や加湿器の付近など湿気やほこりの多い所や、油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災・感電・故障の原因になることがあります。

駐車中の自動車内等、高温になる場所で保管しない

樹脂部品の変形の原因になります。

ACアダプターをコンセントから抜く

長期間ご使用にならない場合、安全と節電のため必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。

乾電池を取り出す

長期間ご使用にならない場合は、乾電池を本体から取り出しておいてください。万一の液漏れによる故障を防ぎます。

電源を切る前には音量を下げる

再度電源を入れたときに突然大きな音が出て、聴力障害などの原因になります。

本機の概要

●本機は以下のディスクおよび音楽ソースに対応しています。記録方式によっては再生できない場合もあります。
・DVD(片面/両面)(一層/二層)
・VCD・CD・MP3・ラジオ・カセットテープ

本機で再生できるディスクの種類

●本機は以下のディスクをアダプター無しで再生できます。

DVDビデオ　DVD-R　DVD-RW
CD　ビデオCD　CD-R

※ビデオモードで記録したDVD-RWディスク(Ver1.1)・DVD-Rディスク(Ver2.0)は再生可能です。(ピックアップの状態、ご使用のディスクとプレーヤーとの相性によって、再生できない場合があります。またビデオレコーディングフォーマットで記録したディスクは再生できません。)
※DVD-RW・DVD-RはDVDディスクの品質、レコーディング機器の品質により、再生できない場合があります。

●DVDビデオのリージョン番号について(地域番号)
・発売地域ごとにDVDビデオのソフトと再生機器に割り当てられた番号をリージョン番号と呼びます。(本機のリージョン番号は「2」です)
・本機は「2」、「ALL」、「2」を含むものが表示されたDVDビデオを再生できます。
●本機で再生できないディスク
・本機のDVDプレーヤーではDVD-ROM・DVD-RAM・DVD+RWは再生できません。
●コピーコントロールCD
・本機のDVDプレーヤーでは音楽CD規格に準拠して設計されています。CD規格外ディスクの動作保証および性能保証はできません。
●JPEGの再生
・JPEGとは、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式の一つです。本機ではコダックピクチャーCD、またはCD-R・CD-RW・CD-ROMに記録されているJPEGファイルを再生することができます(記録方式によって再生できない場合があります)。
・ISO9660レベル1・レベル2のCD-ROMファイルシステム、および拡張子フォーマットに準拠して記録したディスクを使用してください。
・JPEGファイルには".jpg" ".JPG"の拡張子がつきます。
●MP3の再生
・MP3とは、MPEG1オーディオレイヤー3という形式で圧縮した音楽データです。
・ISO9660レベル1、レベル2のCD-ROMファイルシステム、および拡張子フォーマットに準拠して記録したディスクを使用してください。
・MPEG1オーディオレイヤー3のサンプリング周波数32kHz、44.1kHz、48kHzで記録されたファイルに対応しています。これ以外で記録されたファイルは再生できません。
・可変ビットレートには対応していません。
・"mp3"または"MP3"の拡張子がついていないファイルは再生できません。(拡張子とは、OSやアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類をあらわす文字です。)
●MP4の再生
・MP4とは、ここでは「DivX」などの、MPEG4形式で圧縮された動画ファイルを指します。

DVD・CD-Rに表示されているマークについて

●DVDやCD-Rのディスクやパッケージには以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークはそのディスクに記録されている映像や音声のタイプ・機能をあらわしています。

DOLBY DIGITAL
ドルビーデジタルサウンド

アングル数

●ドルビーデジタルサウンド
DVDの標準音声タイプのことで、モノラルやステレオで記録されているソフトであれば、5.1chサラウンドで記録されているものもあります。ドルビーデジタル(5.1chサラウンド)で記録されているソフトでは、それぞれ5つのチャンネルごとに音声が記録されていて、サブウーハーから出力される低音も記録されています。本機を5.1chプロセッサーつきAVアンプと接続することにより、臨場感あるマルチチャンネル再生を楽しむことができます。
●アングル
複数台のカメラで撮影したソフトを再生する時にアングルを変えて見ることができます。中の数字はアングル数を表しています。
●本機のDVDプレーヤーはDVDフォーマットに準拠したマクロビジョン方式のコピーガードに対応しています。
DVD VIDEO マークは、DVDビデオディスクの統一マークです。

マークは、音楽用CDの統一マークです。
ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
DOLBY・ドルビー・およびダブルDマークはドルビーラボラトリーズの商標です。

●ディスクに関する用語について
一般にDVDビデオディスクは、「タイトル」という大きい区切りと、「チャプター」という小さい区切りに分かれています。
ビデオCD/音楽用CDは「トラック」で区切られています。

【タイトル】
DVDビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。

【チャプター】
タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。

【トラック】
ビデオCD/音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。それぞれのタイトルやチャプター、トラックには順番に番号がふられています。
これらの番号を「タイトル番号」「チャプター番号」「トラック番号」といいます。
ディスクによっては各々の番号が記録されていないものもあります。

本機の取扱いについて

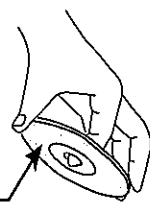
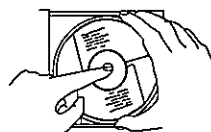
●極端な湿度、日差しの強い場所には放置しないでください。
●窓を閉め切った自動車内での放置はしないでください。

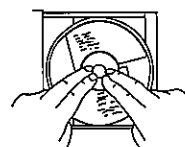
結露について

本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を発揮できなくなることがあります。このような場合は、1時間ほど放置するか、徐々に室温を上げてから使用してください。

ディスク取扱い上のご注意

<ディスクの取扱いかた>
■再生面には手をふれないでください。

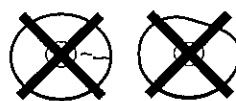
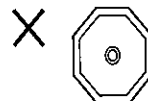
再生面

<ケースから出すとき>
センターホルダーを押さえ

再生面に触れないように持って取り出します。

<ケースにしまうとき>
印刷面を上にして…

上から押さえて入れます。

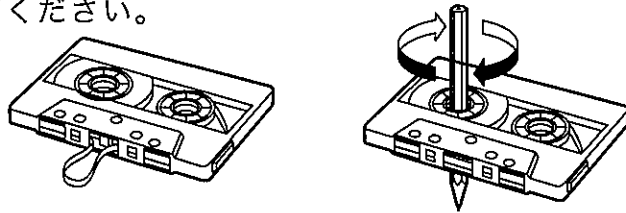
<ディスクの保管のしかた>
■直射日光の当たる場所や、温度の高い場所、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
■ディスクは必ずケースに入れて保管してください。

<本機を持ち運びするときは>
■ディスクを必ず取り出してください。
入れたまま持ち運びすると、ディスクに傷をつけたり、故障の原因になります。

ディスク使用上のご注意

●シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでくだい。ディスクを痛める原因となります。
●再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。
●ひびやそりのあるディスクは絶対に使用しないでください。
●ディスクに下記のマークの入ったものをご使用ください。

●ハート形や八角形などの特殊形状のディスクは使用しないでください。故障の原因となります。

●再生中、ディスクはプレーヤー内で高速で回転しています。ひび割れや変形したディスク、またはテープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使用しないでください。
●CD-R/CD-RWに記録されたディスクの再生は、記録状態により再生できない場合があります。
●コピーガード付きのディスクは、再生できない場合があります。

カセットテープの取り扱いについて

●再生中に音が鈍くなった時は、まれに酸化物や異物がテープに付着している場合があります。その場合は、ヘッドクリーニングテープのご使用をおすすめします。その際、摩擦を起こす恐れがありますので、使いすぎにはご注意ください。
●先のとがったもので付着物をはがそうとしないでください。
●テープがからまると、充分な速度で再生できません。たるんでいる場合は、下図のように鉛筆などで直してからご使用ください。

●テープの巻きつきがきついと感じるときは、テープの窓の線が詰まっているように見えます。そのときは、一度テープを早送り、巻き戻ししてください。
●テレビやスピーカーなど、磁気のそばにテープを置かないでください。磁気はテープの感度を下げ、録音を消す恐れがあります。
●温度や湿度が高い所や、ほこりが多い場所には長時間放置しないでください。
※60分以上の長時間テープはご使用にならないでください。長時間テープは薄く伸びやすいため、テープが機械に巻き込まれる場合があります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠ 危険

乾電池が液漏れしたとき

乾電池の液が液漏れしたときは素手で液をさわらないでください。
液が内部に残ることがあるため、総発売元株式会社クマザキエイムにご相談ください。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので、目をこすらずすぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠ 警告

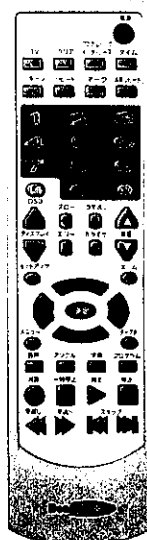
・小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談する。
・機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
・火の中に入れない。分解、加熱しない。
・コイン、キー、ネックレスなどの貴金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
・液漏れした電池は使わない。
・新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

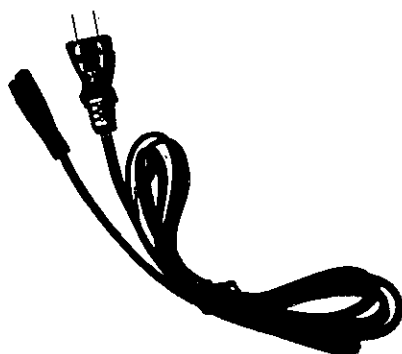
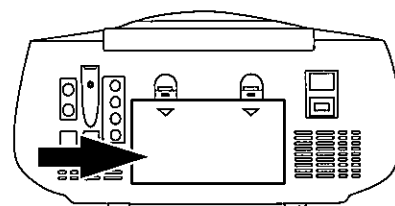
⚠ 注意

・火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
・外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけたりしない。
・指定された種類以外の電池は使用しない。

●リモコン×1個

DVD/CD操作専用のリモコンです。

※テープ・ラジオの操作にはお使いになれません。

●電源コード×1本

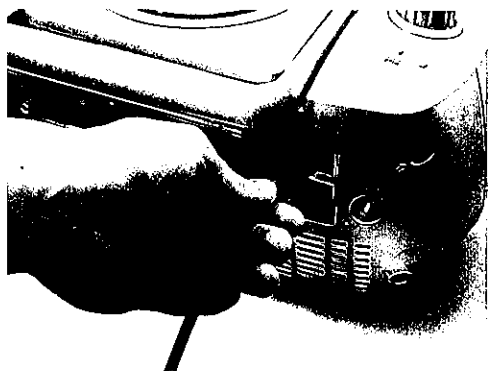
●ビデオ/オーディオケーブル×1本

付属品のケーブル類は、本体裏面の乾電池収納部内に入っています。

●取扱説明書

●カンタン説明書

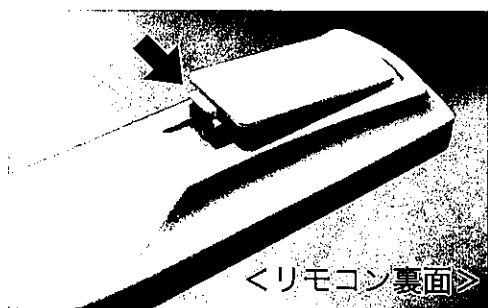
※本商品に、本機用／リモコン用乾電池は含まれておりません。

家庭用電源または、乾電池のいずれかを選んでお使いになれます。
DVDを再生するときやカセットテープを録音するときは、電力消費が大きいため付属の電源コードをお使いください。

●**電源コードを接続する**

電源コードを本機の【電源コード差込口】へ差し込んだあと、壁のコンセントへ差し込んでください。

●**リモコンに電池を入れる**

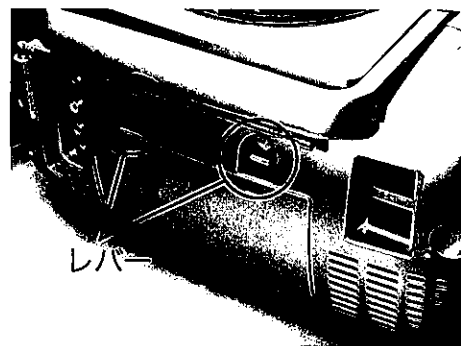
<リモコンの電池の入れ方>

1.電池ケースカバー矢印部を上に持ち上げるようにしてカバーを外します。
2.単4乾電池２個（市販品）を、＋プラス/ーマイナス表示の通り、マイナス側を先に入れてからプラス側を入れます。
3.電池ケースカバーを元に戻します。

電池の交換について

電池が消耗してくると、リモコン操作できる距離が短くなります。
乾電池をすべて新しいものに交換してください。

●**本機に乾電池を使う**

乾電池をお使いになるときは、本体から電源コードを抜いてください。

1.本機裏面にある乾電池収納部の蓋を、レバーを押し下げるようにして開けます。
2.単1型乾電池8個（市販品）を、＋プラス/ーマイナス表示の通り正しく入れます。
3.電池収納部の蓋を元に戻します。

※本機に充電電池はご使用になれませんので、ご注意ください。

1. 付属のビデオ/オーディオケーブルを本機に接続します。

ビデオ/オーディオケーブルの、(赤)を本機の音声(右)出力端子に、(白)を音声(左)出力端子に、(黄)を映像端子に接続します。

2. ビデオ/オーディオケーブルのもう一方を、テレビの映像入力端子に接続します。

ビデオ/オーディオケーブルのもう一方の端の、(赤)をテレビの音声(右)入力端子に、(白)を音声(左)入力端子に、(黄)を映像入力端子に接続します。

3. テレビの外部入力を切り換えます。

テレビのリモコンにある外部入力切換ボタンで、外部入力を切り換えます。

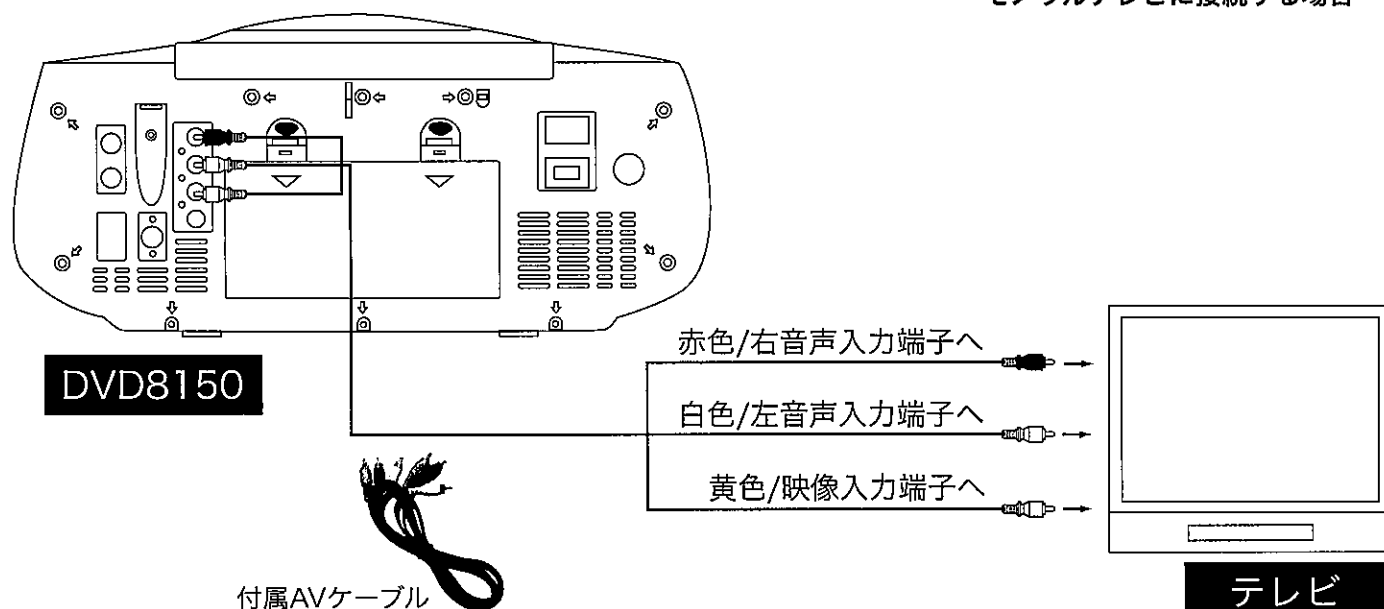
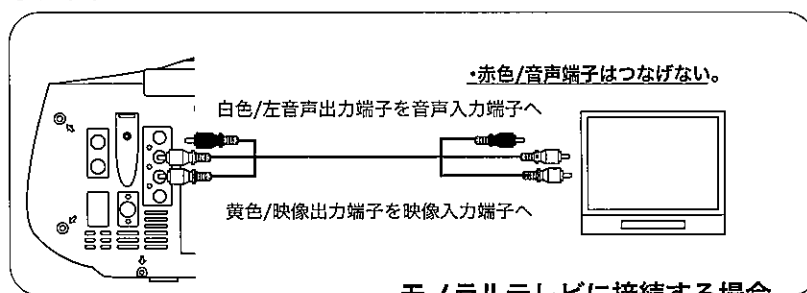
接続したテレビの端子に合わせて外部入力を切り換えます。
(例:「ビデオ１」「ビデオ２」など。)

※ＴＶにＳ映像入力端子がある場合は、Ｓ映像ケーブル（市販品）をご使用になると、より鮮明な画像で見ることができます。

※Ｓ映像ケーブルを使用するときは、付属のビデオ/オーディオケーブル(黄)は接続しないでください。

※Ｓ映像ケーブルを使用するときは、セットアップの「システムセットアップ」→「映像出力」→「S-VIDEO」に設定してください。（32ページ参照。）

※お手持ちのアンプにデジタル同軸がある場合は、同軸ケーブル（市販品）をご使用になると、アンプと接続ができます。（12ページ参照。）

※ＴＶセットがモノラルの場合は、ビデオ/オーディオケーブル(白)をテレビに接続します。(赤)を接続する必要はありません。（図参照。）その際、セットアップの「デジタルセットアップ」→「ステレオモード」→「混合モノ音」に設定してください。（33ページ参照。）

•赤色/音声端子はつなげない。
白色/左音声出力端子を音声入力端子へ
黄色/映像出力端子を映像入力端子へ
モノラルテレビに接続する場合

DVD8150
赤色/右音声入力端子へ
白色/左音声入力端子へ
黄色/映像入力端子へ
付属AVケーブル
テレビ

1. 付属のビデオ/オーディオケーブルを本機に接続します。

ビデオ/オーディオケーブルの、(赤)を本機の音声(右)出力端子に、(白)を音声(左)出力端子に、(黄)を映像端子に接続します。

2. ビデオ/オーディオケーブル(赤/白)のもう一方を、アンプの音声入力端子に接続します。

3. ビデオ/オーディオケーブル(黄)のもう一方を、テレビの映像入力端子に接続します。

※お手持ちのアンプに同軸入力がある場合は、同軸ケーブル(市販品)をご使用いただけます。
(5.1チャンネル対応)

テレビ

黄色/映像入力端子へ

オーディオアンプなど

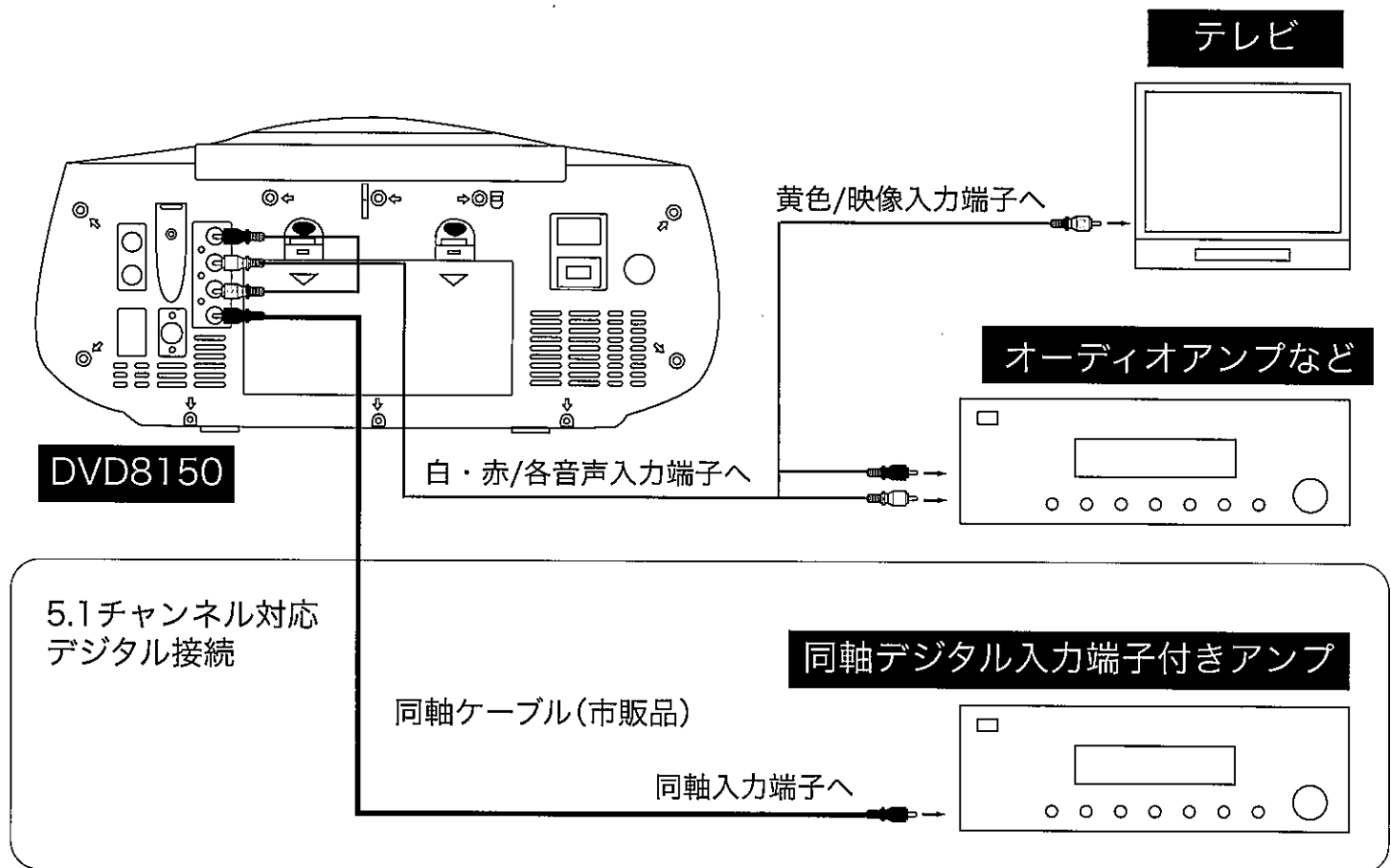
DVD8150

白・赤/各音声入力端子へ

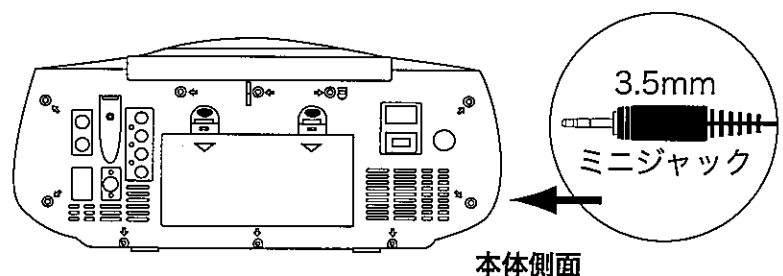
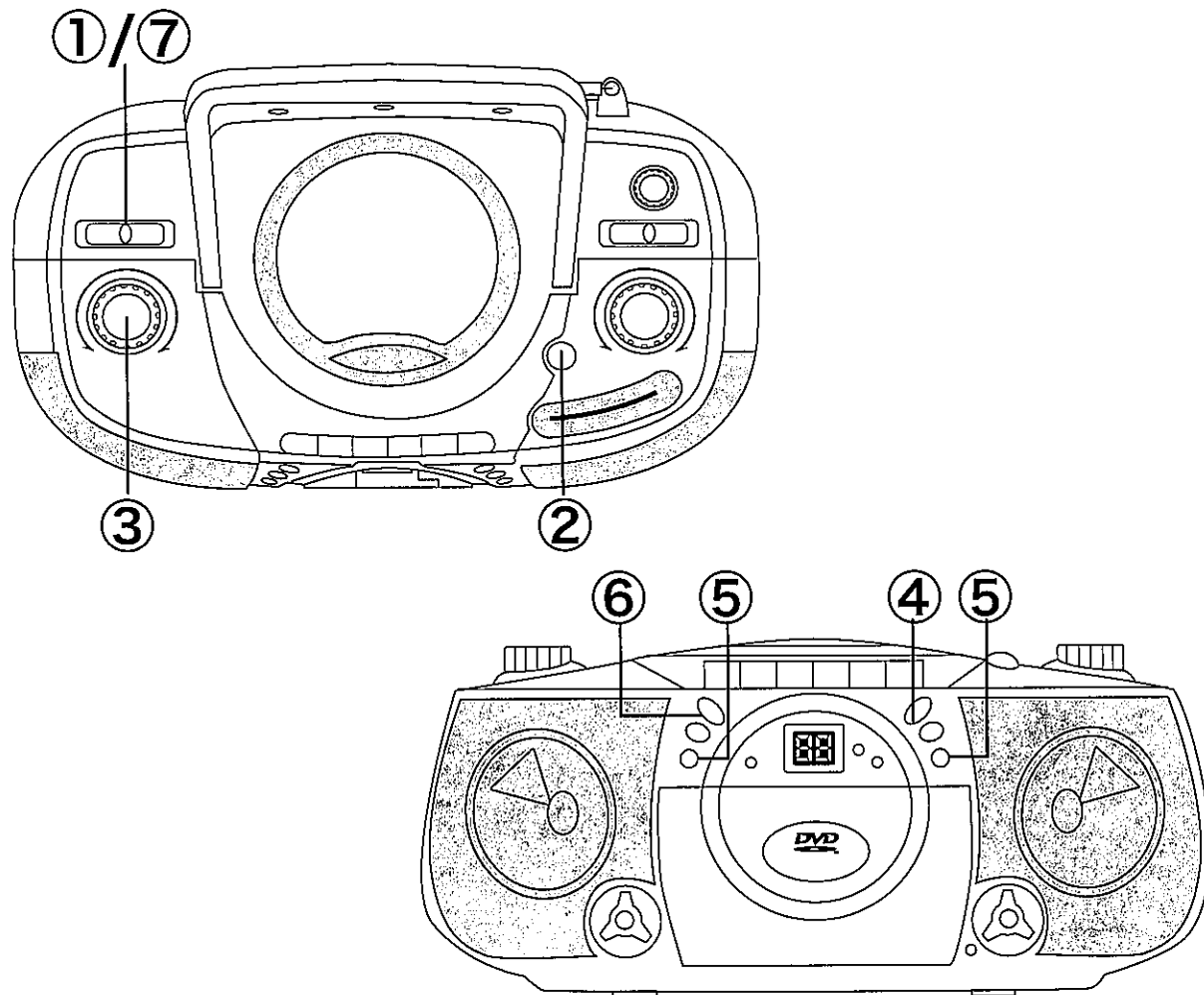
5.1チャンネル対応
デジタル接続

同軸デジタル入力端子付きアンプ

同軸ケーブル(市販品)

同軸入力端子へ

ヘッドホンの接続

お手持ちのヘッドホンやイヤホンを、本機の【ヘッドホン/イヤホン端子】に接続してお使いいただけます。

DVDを観る/CDを聴く

①本体の切換スイッチを【DVD/CD】の位置に合わせます。

②【ドア開】ボタンを押してDVDのドアを開けます。ディスクをセットし、ドアを閉じます。自動的に読み込み、再生を始めます。

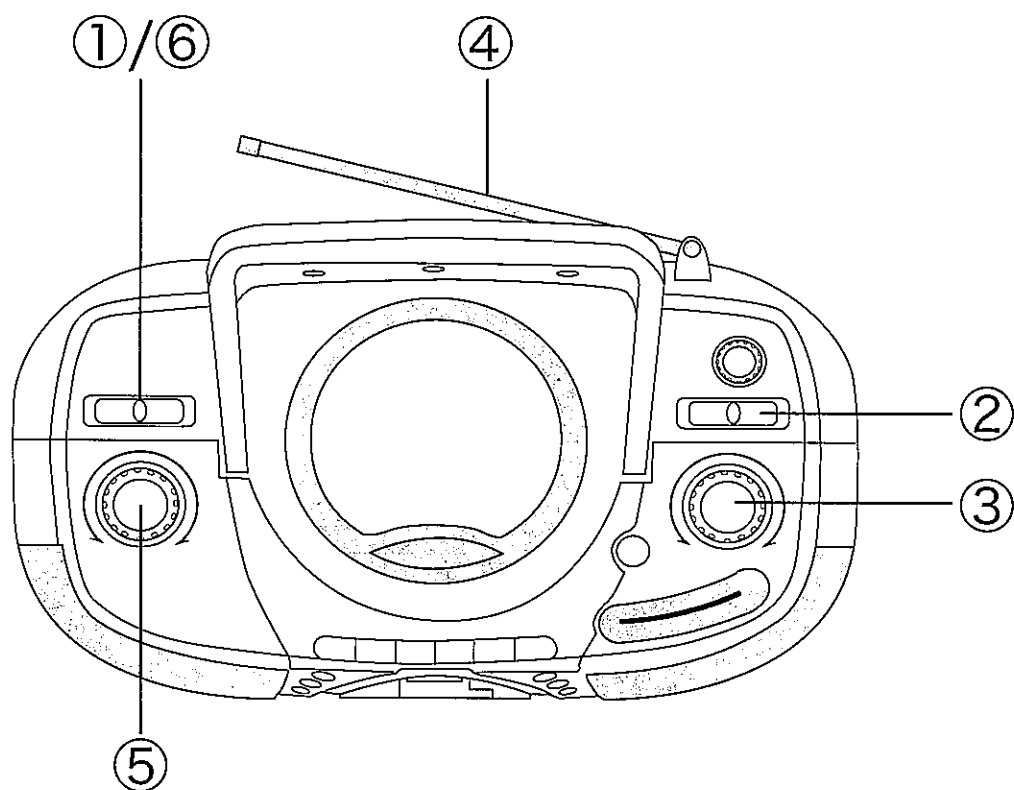
③音量は【音量】ツマミで調節します。(リモコンは【音量】ボタンを押します。)

④再生中、【再生/一時停止】ボタンを押すと、一時停止します。もう一度押すと再生を始めます。

⑤【次へ】【前へ】ボタンを押すと、次のトラックもしくは前のトラックにスキップ再生します。(リモコンは【スキップ】ボタンを押します。)

⑥【停止】ボタンを押すと停止します。(リモコンは【停止】ボタンを押します。)

⑦電源を切るときは、切換スイッチを【テープ/電源切】の位置に合わせます。

・誤った操作やディスクによって禁止されている操作をした時は、テレビ画面に"入力無効"が表示されます。
・ファイナライズ処理されていないDVD-R/RWは再生できません。
・VRモードで録画されたDVD-RWは再生できません。
・ディスクトレイの中に白いテープ状のものが見えますが、機械部品ですので、絶対に触れないでください。

①本体の切換スイッチを【ラジオ】の位置に合わせます。

②【FM/AM切換スイッチ】でFMまたはAMを選びます。

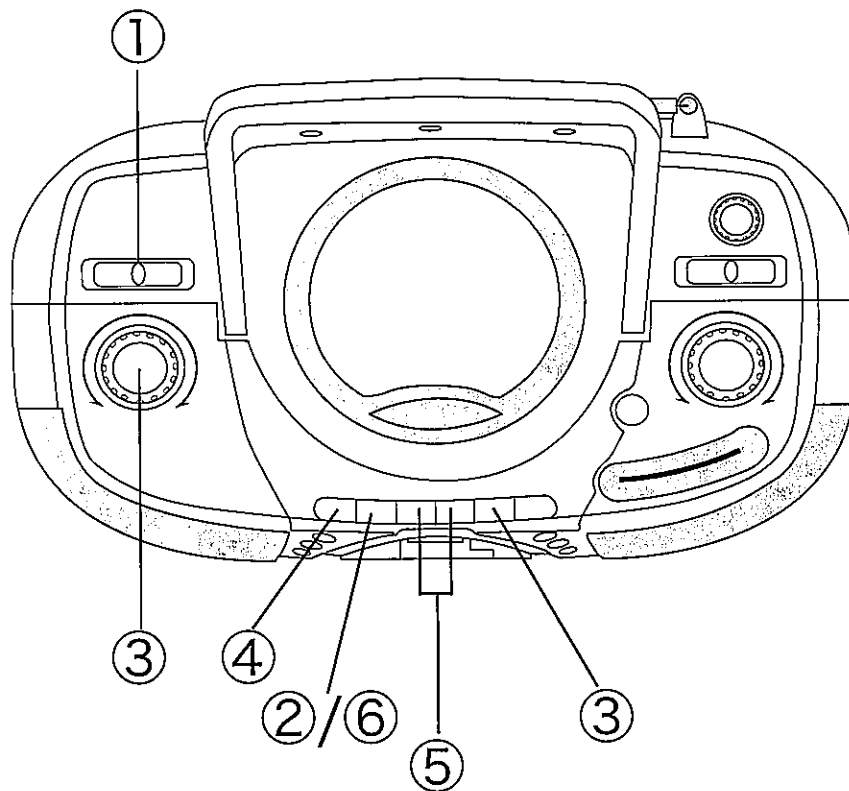
③【ラジオチューニングダイヤル】で聞きたい放送局に合わせます。

④アンテナや本体を動かして、受信状態の良い方向にあわせます。

⑤【音量ツマミ】で音量を調節します。

⑥電源を切るときは、切換スイッチを【テープ/電源切】の位置に合わせます。

本機はFMステレオ放送のみステレオで聞くことができます。AM/TVのステレオ放送はモノラルになります。ステレオ放送を受信したときに、本機のFMステレオインディケーターが点灯します。

テープを聴く

①本体の切換スイッチを【テープ/電源切】の位置に合わせます。

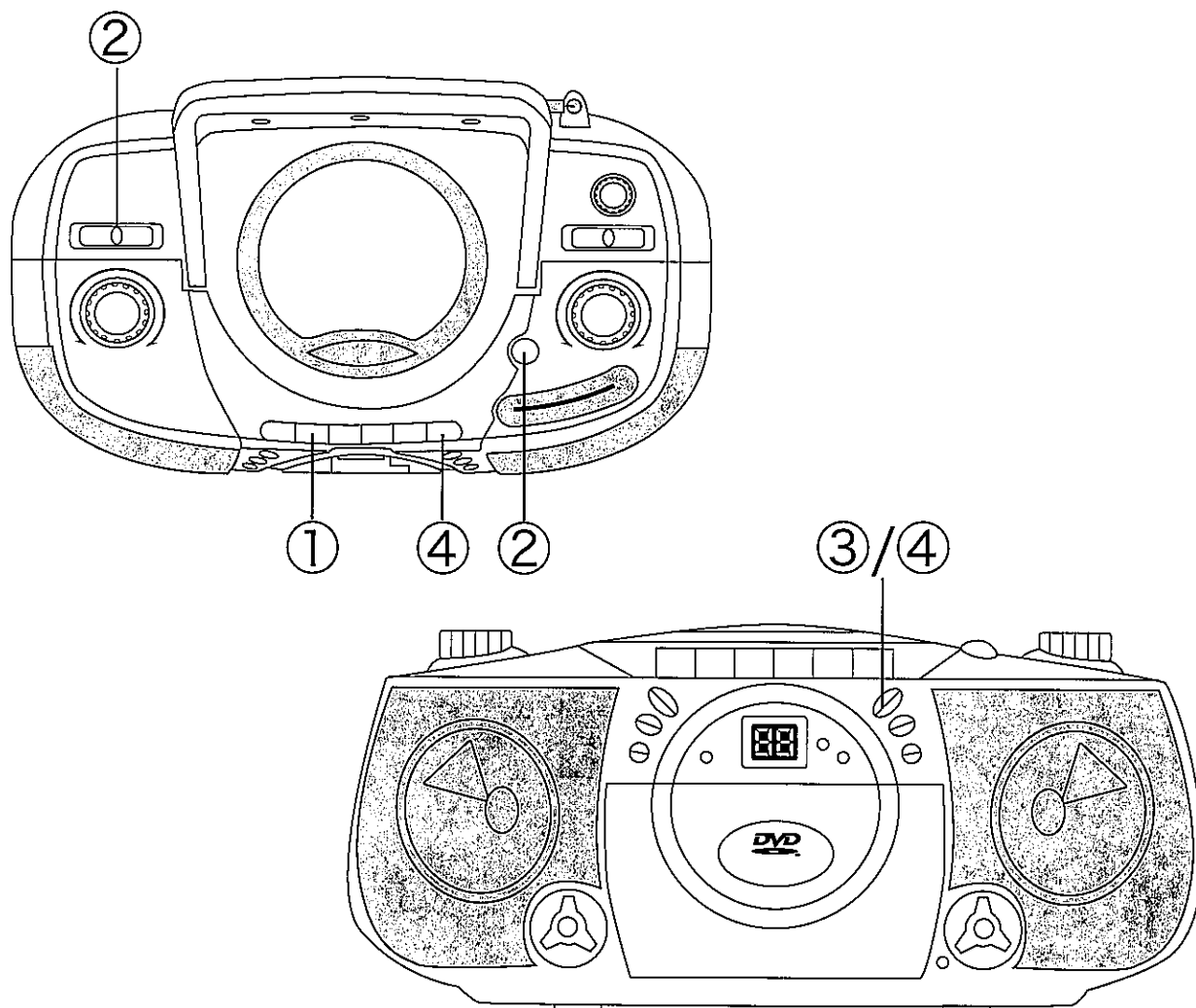
②【停止/取出し】ボタンを押してカセットテープのドアを開きます。テープ露出面を上にしてカセットデッキにテープを入れます。

③【再生】ボタンを押すと再生が始まります。音量は【音量ツマミ】で調節します。

④【一時停止】ボタンを押すと、再生を一時停止します。

⑤【早送り】【巻戻し】ボタンを押すと、カセットテープを早送りもしくは巻き戻しをします。

⑥【停止/取出し】ボタンを押すと停止します。

⑦カセットテープを最後まで再生すると、自動的に停止します。

①【停止/取出し】ボタンを押してカセットテープのドアを開けます。録音用カセットをテープ露出面を上にして入れます。

②切換スイッチを【DVD/CD】に合わせます。DVDドアを開けてディスクをセットします。

③DVD/CDを録音できる状態にします。

DVD/CD再生中に録音したいところで【再生/一時停止】ボタン（リモコンは【一時停止】ボタン）を押し、一時停止状態にします。

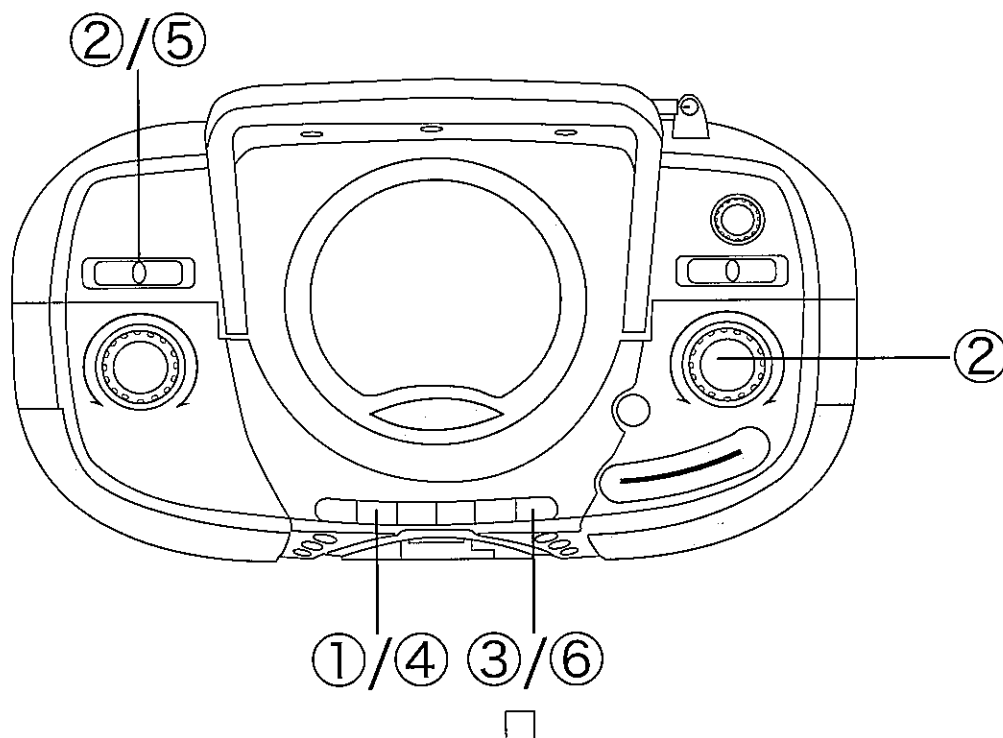
④カセット操作の【録音】ボタンを押したあと、DVDの【再生/一時停止】ボタン（リモコンは【再生】ボタン）を押します。録音を開始します。

・録音中音量を変えても録音される音量は変わりません。

・録音するときは、乾電池ではなく、付属の電源コードを使用することをおすすめします。

・TYPE I （ノーマル）テープをお使いください。

・テープのツメが折れていないことを確認してください。折れているテープに録音するときは、セロテープで穴をふさいでください。

ラジオ/内蔵マイクでテープに録音する

『ラジオを使って録音する』

①【停止/取出し】ボタンを押してカセットテープのドアを開けます。録音用カセットテープをテープ露出面を上にして入れます。

②切換スイッチを【ラジオ】に合わせて、【ラジオ選局ツマミ】で録音したい局に合わせます。

③カセット操作の【録音】ボタンを押すと録音が始まります。

『マイクを使って録音する』

④【停止/取出し】ボタンを押してカセットテープのドアを開けます。録音用カセットをテープ露出面を上にして入れます。

⑤本体の切換スイッチを【テープ/電源切】の位置に合わせます。

⑥マイクを接続している場合：

【録音】ボタンを押すと、接続したマイクを使って、外部音声が録音されます。

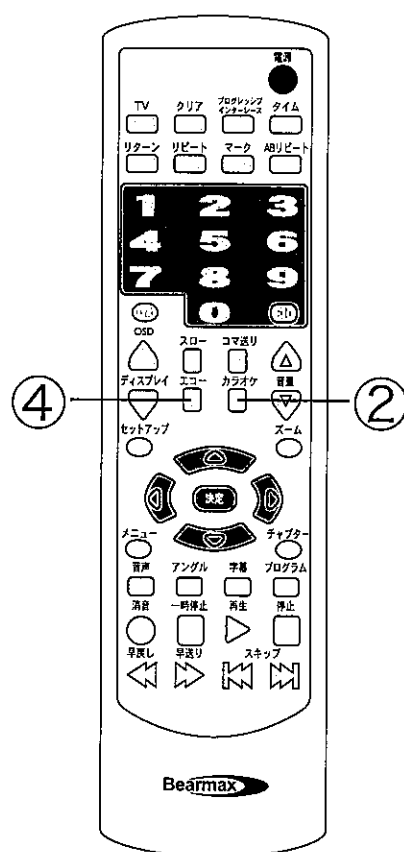
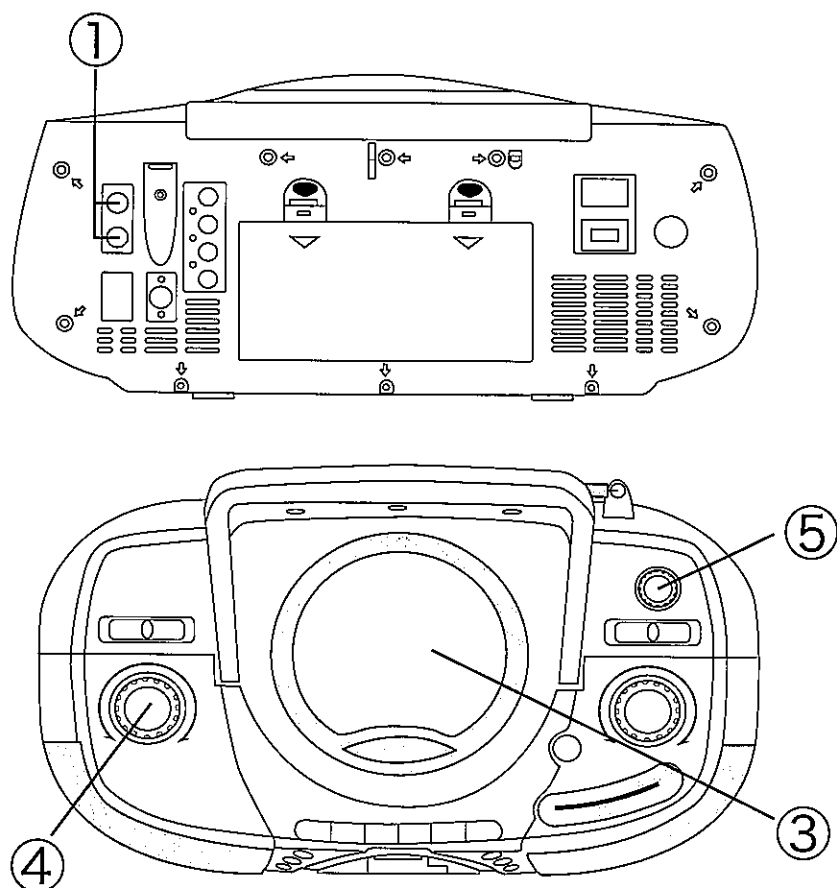
マイクを接続していない場合：

【録音】ボタンを押すと、本体内蔵のマイクを使って、外部音声が録音されます。

・録音中音量を変えても録音される音量は変わりません。

・録音するときは、乾電池ではなく、付属の電源コードを使用することをおすすめします。

・TYPE I（ノーマル）テープをお使いください。

・テープのツメが折れていないことを確認してください。折れているテープに録音するときは、セロテープで穴をふさいでください。

・マイク/エコー/キー/音量の設定状態は、テレビ画面でのみ確認ができます。本機には表示されません。
・エコー/キー調整は、DVD/CDのみに対応しています。カセットテープでのカラオケには機能しません。

①市販のマイクのジャックを本機のマイク１もしくはマイク２に差し込みます。

②リモコンの【カラオケ】ボタンを押して、マイクセットアップを〔オン〕にします。

③ディスクトレイにDVD/CDをセットします。自動的に読み込みを始めます。

④【音量ツマミ】でDVD/CDの音量を調節します。リモコンの【エコー】ボタンを押して、エコーを調節します。

⑤本機の【マイク音量調整ツマミ】でマイクの音量を調節します。

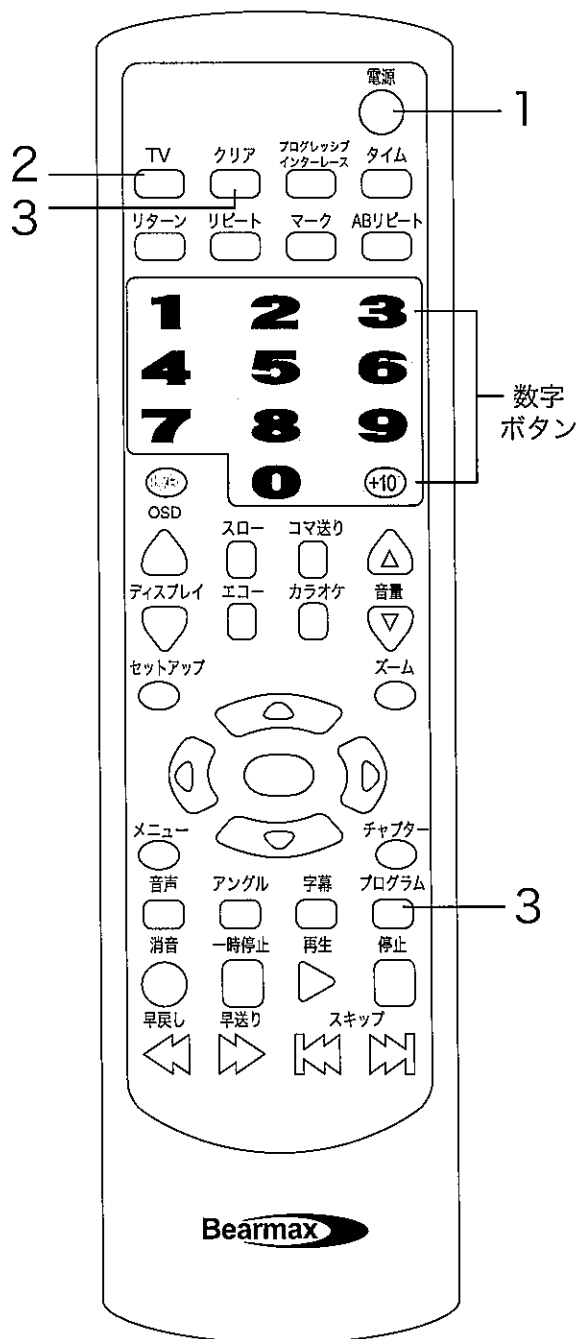
・カラオケDVDのボーカルあり/なしは、リモコンの 音声 音声ボタン、もしくは L/Rボタンで切り換えができます。（ディスクの記録によって異なり、切り換えできない場合もあります。）

・キー調整は、[セットアップ]にある[オーディオセットアップ]の[キー]で調整してください。（23/33ページ）

・セットアップの[デジタルセットアップメニュー]にある[ステレオモード]が[ステレオ]に設定されているか確認してください。（23/33ページ）

リモコンを使ったその他の操作

※お使いになるディスクによって画面表示は異なります。
※ディスクの記録状態によって操作無効になる場合があります。

DVD/CD操作専用のリモコンです。

1. 電源

電源の入切をします。
本機のリモコンセンサーに向け操作します。

2. テレビ方式

日本ではNTSC方式に設定されています。

3. プログラム再生/クリア

DVD/CDの再生順序が設定できます。

①DVD再生中にプログラムボタンを押します。
　上図の画面が表示されます。
②リモコンの数字ボタンで、プログラム再生したいタイトル/チャプター/トラック番号を入力します。
③ナビゲーションボタンで次のポジションに移動します。次の番号を入力します。
④入力が終わったら、上図の「再生」まで移動し、決定ボタンを押します。設定した順番で再生を始めます。
⑤リモコンのクリアボタンを押すと、設定したプログラムが削除されます。
⑥最大16タイトル/チャプター/トラックまで設定できます。
⑦停止ボタンを押すと最初の画面に戻ります。
※VCDは最大18トラックまで設定できます。
※MP3を設定する場合、1つのディレクトリー（例 DIR00）が表示された後に決定ボタンを押すと、そのディレクトリーの中にあるすべてのファイルが設定されます。1つのファイル（例 SONG-01）が表示された後に決定ボタンを押すと、そのファイルが設定されます。最大30まで設定できます。

※お使いになるディスクによって画面表示は異なります。
※ディスクの記録状態によって操作無効になる場合があります。

5. メニュー

メニュー画面を表示します。

6. タイム

移動再生します。

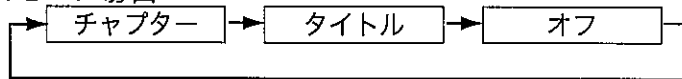
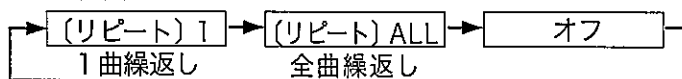
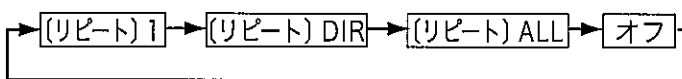
DVD の場合

①タイムボタンを押すと下図が表示されます。
②ナビゲーションボタンでタイトル / チャプターに移動します。
③移動再生したいタイトル / チャプターの番号を数字ボタンで入力します。
④移動再生したい時 / 分 / 秒を入力し、決定ボタンを押します。
⑤設定した時間から再生を始めます。

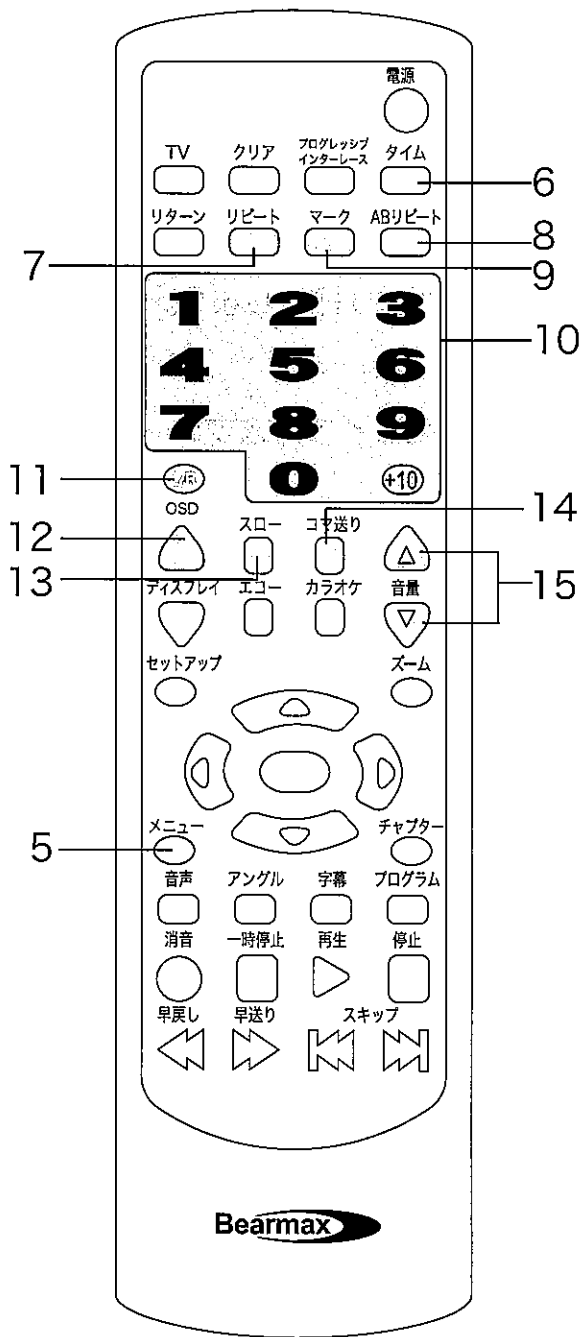
CD の場合

①タイムボタンを押すと下図が表示されます。
②移動再生したいトラック番号を入力します。
③移動再生したい時 / 分 / 秒を入力します。
④決定ボタンを押します。設定した時間から再生を始めます。

7. リピート

繰り返し再生をします。
リピートボタンを押すたびに、下図のように切り換ります。

8. ABリピート

指定した場面の間を繰り返し再生します。

① リピート再生を始めたい場面で A-B リピートボタンを押します。
② リピート再生を終了させたい場面で A-B ボタンを押します。A と B の指定した間を繰り返し再生します。
③ A-B ボタンをもう一度押すと、元の画面に戻ります。

9. マーク

指定した場面の記憶再生ができます。
5つまで、チャプター/トラックを記憶することができます。

①再生中にマークボタンを押します。下図が画面に表示されます。

マーク _ _ _ _ _ タイトル1 チャプター1 00:00:10

②ナビゲーションボタンを使って、最初のアンダーラインにカーソルを合わせます。

③記憶させたいチャプター/トラックの再生中に決定ボタンを押します。決定ボタンを押した場面が“1”に保存されます。

④次のアンダーラインにカーソルを合わせます。次に記憶させたいチャプター/トラックの再生中にで決定ボタンを押します。“2”に保存されます。

⑤3から5まで同じ方法で設定します。

マーク 1 2 _ _ _ タイトル1 チャプター2 00:00:10

⑥記憶させたチャプター/トラックを再生するときは、マーク番号にカーソルを移動し再生ボタンを押します。再生が始まります。

⑦設定を削除するときは、削除したい番号にカーソルを移動させ、クリアボタンを押します。

10. 数字ボタン

ディスク再生中に数字ボタンを使って指定したトラックの再生ができます。

① 10以下の数字は、そのまま1から9までの数字をそのまま入力します。

② 10以上の数字は、最初に+10を押してから1から9までの数字を入力します。

11. L/R（CDのみ対応）

Lトラック・Rトラック・ステレオの切換をします。
マルチトラックのCDを再生する場合、Lトラック、Rトラックもしくはステレオのいずれかを選択できます。
2ヶ国語のVCDを再生している場合は、L/Rボタンで音声の切換ができます。
ボタンを押すたびに下図のように切り換ります。

左側モノ音 → 右側モノ音 → ステレオ

12. OSD

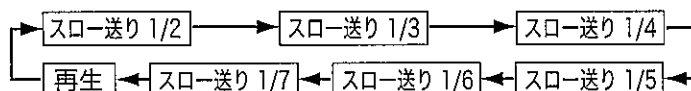
現在の設定をテレビ画面に表示します。
ボタンを押すたびに下図のように画面が切り換ります。

A：DVDの場合

B：CDの場合

13. スロー

スロー再生をします。

①ディスク再生中にスローボタンを押すと、下図の順番でスロー再生になります。

②スロー再生中に再生ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

14. コマ送り

静止画再生をします。

①ディスク再生中にコマ送りボタンを押すと、静止画面になります。

②コマ送り再生中に再生ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

15. 音量

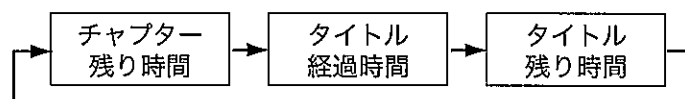
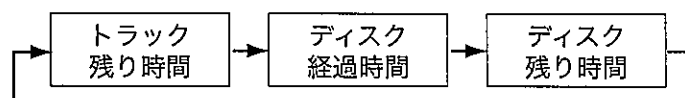
音量調節ができます。音量は1～15で調整できます。

※DVDの音量が小さいときは、セットアップメニューのデジタルセットアップ設定を確認してください。（26ページ）

※リモコンの音量が下がっている場合、本機の音量ツマミを最大にしても、音量は大きくなりません。

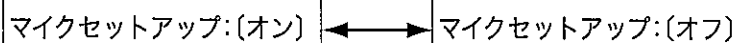
16. ディスプレイ

現在の設定を表示します。
再生中にディスプレイボタンを押すと、経過時間、残り時間などが表示されます。ボタンを押すたびに表示が切り換ります。

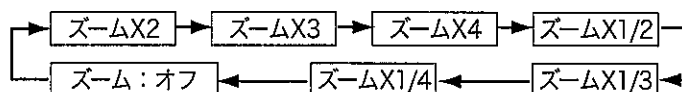
A：DVDの場合

B：CDの場合

17. エコー

エコーの調整をします。
カラオケがオンに設定されているとき、エコーボタンでエコー調節ができます。
エコーのボリュームが0の時はエコーがオフになります。

18. カラオケ

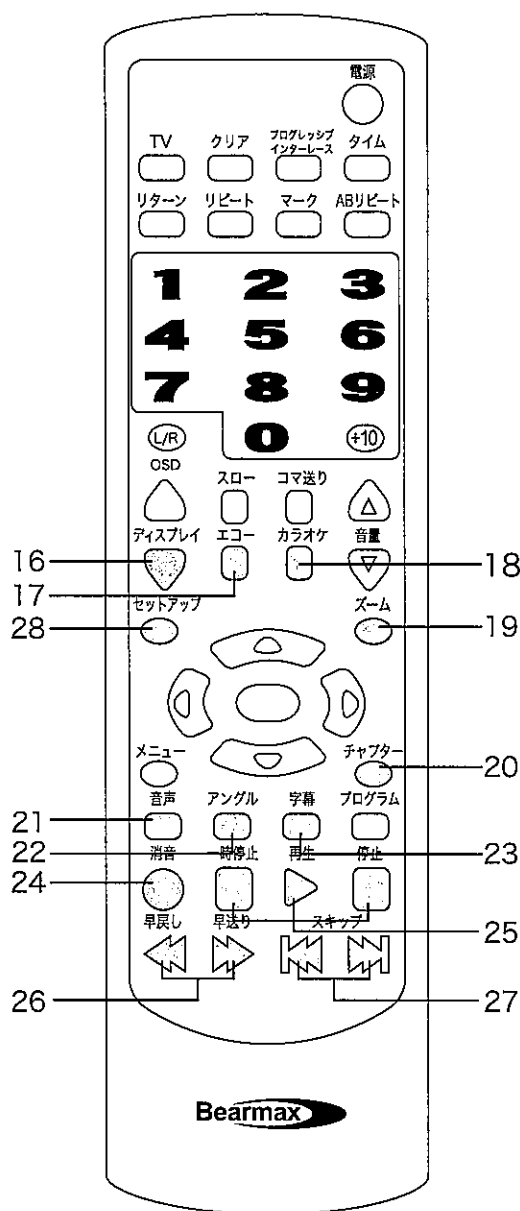
マイク入切の切換をします。
①再生中もしくは停止状態でカラオケボタンを押します。
②ボタンを押すたびにオンとオフが切り換ります。

19. ズーム

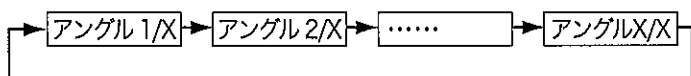
ズーム再生します。
再生中や静止状態でズームボタンを押すと、ズーム再生ができます。
ナビゲーションボタンを使うと拡大画面の移動ができます。
ボタンを押すたびに下図のように画面が切り換ります。
※メニュー画面では機能しません。

※お使いになるディスクによって画面表示は異なります。
※ディスクの記録状態によって操作無効になる場合があります。

20. チャプター

タイトルメニュー画面に戻ります。

21. 音声切換

映画の音声を切り換えます。
ディスクの音声切換ができます。ボタンを押すと現在の音声が画面に表示され、再度ボタンを押すと音声が切り換わります。

22. アングル

DVD のアングルを切り換えます。
アングルボタンを押たびに下図のように切り換ります。
※複数のアングルで記録されたDVDのみご使用になれます。

23. 字幕切換

映画の字幕を切換ます。
複数の字幕が記録されたDVDの字幕切換ができます。

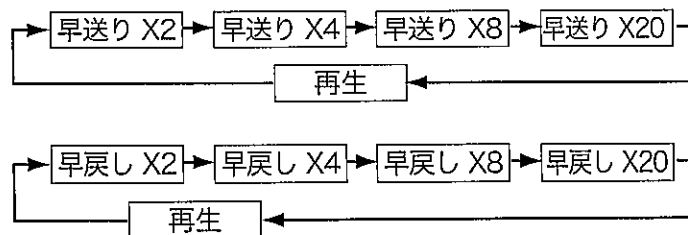
24. 消音

消音します。
①再生中に消音ボタンを押すと、消音します。
②再度消音ボタンを押すと、元の音声に戻ります。

25. 一時停止、再生、停止

A：再生中に一時停止ボタンを押すと一時停止します。
B：再生中に停止ボタンを押すと、仮停止状態になります。(MP3再生の場合は停止状態になります。)
C：仮停止状態で停止ボタンを押すと本停止になります。
D：一時停止の状態と仮停止状態の時に再生ボタンを押すと、一時停止した画面、もしくは仮停止した画面からふたたび再生を始めます。

26. 早戻し / 早送り

再生中に早戻しボタンもしくは早送りボタンを押すと、早送りもしくは早戻し再生をします。ボタンを押すたびに下図のようにスピードが切り換ります。

27. スキップ

スキップ再生しします。
再生中にスキップボタンを押すと、前もしくは次のチャプター / トラックにスキップします。

28. セットアップ

セットアップ（初期設定）のメニュー画面に切り換ります。
①切換スイッチを DVD に合わせます。
② DVD 停止ボタンを押します。
③セットアップボタンを押します。
④ナビゲーションボタンで希望する項目を選択します。
⑤決定ボタンを押すと設定が完了されます。
※詳細は 32 ～ 33 ページを参照。

●暗証番号
初期設定では、暗証番号がロック状態になっています。パスワードを変更する時は、ロックを解除した状態で、最初に古いパスワードを入力し、次に新しいパスワード（4数字）を入力します。初期設定のパスワードは 0000 が設定されています。
●デフォルト
工場出荷時の状態に戻ります。

DVD/CDの再生について

Q DVD/CDがセットできない。

A DVD/CDの中心の穴をトレイの中心と合わせて、パチッと音がするまでDVD/CDを押さえてください。

Q 友人から借りたDVDが再生できない。

A 録画したレコーダー以外のプレーヤーで再生する場合、「ファイナライズ処理」が必要です。

また、DVD-RWの場合は「ビデオモード」で録画されているかご確認ください。

A DVD-R/RWの場合は、記録の状態によって正常に再生できない場合があります。

Q DVDを再生していて、音は出ているが映像が映らない。

A CDでは映像が映りません。

A 接続しているテレビの外部入力を切り換えてください。

A AVケーブルが正しく接続されているか確認してください。

Q 画像は映るのに、音がでない。

A リモコンの消音ボタンを押して、消音になっていないか確認してください。

A リモコンの音量を上げてください。

Q DVDがスキップ再生できない。

A チャプター（映像の区切り）に分けられていないDVDはスキップ再生できません。

Q 再生ボタンを押しても、"N-O"と表示される。

A ディスクが裏返しになっていないか確認してください。

印刷面を上にしてセットします。

Q アルカリ乾電池を使ってDVD/CDを再生していると、調子が悪い。

A DVD/CDの再生は、電池の消耗が激しいため、長時間はご使用になれません。

付属の電源コードをコンセントに差してお使いください。

乾電池の使用時間は、電池の状態や室温によって大きく変動します。

リモコンについて

Q	A
Q　リモコンの音量ボタンで音が大きくならない。	A　**本体の音量ツマミ（主音量）を大きくしてください。** リモコンの音量ボタンでは、主音量で設定している音量以上の音は出ません。
Q　リモコンのボタンを押しても切り換えができない。	A　**ボタンを1回押すと、テレビ画面に現状の設定が表示されます。** **もう1回押すと設定が切り換ります。設定が表示されている間にボタンを押してください。**
Q　リモコンが使えない。	A　**乾電池を入れなおしてください。** 先に乾電池のマイナス側を入れてから、プラス側を入れます。 A　**ディスクによって使えないボタンがあります。** A　**テープ・ラジオでは使えません。** DVD/CD専用のリモコンです。

カセットテープについて

Q	A
Q　カセットテープの録音ボタンが押せない。	A　**テープのツメが折れていると録音はできません。**

カラオケについて

Q	A
Q　カラオケのマイクが使えない。	A　**リモコンのカラオケボタンを押して、「マイクセットアップ」がオンになっているか確認してください。** A　**マイク音量ツマミでマイク音量を大きくしてください。** A　**マイクのコードが断線・ショートしていないか確認してください。**

その他

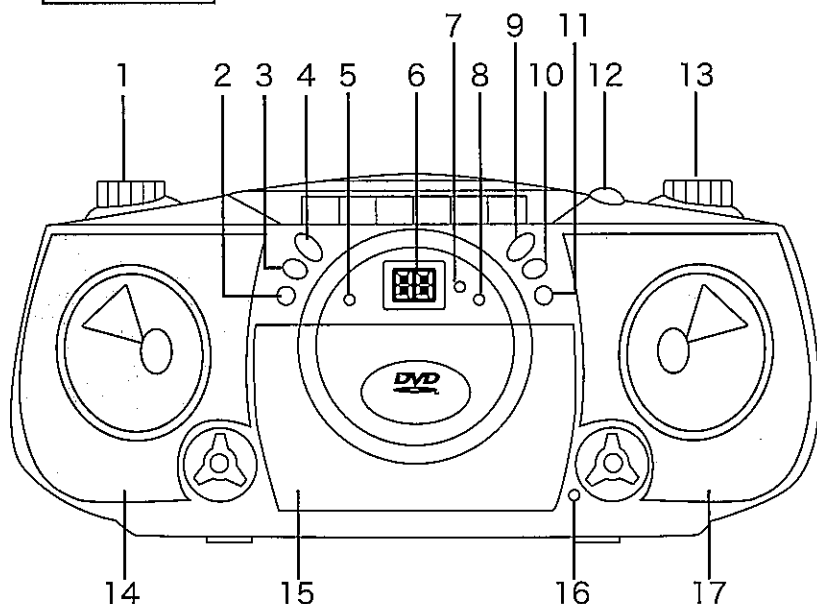
Q	A
Q　FMステレオのランプが点灯しない。	A　**FMラジオのステレオ放送受信時のみ点灯します。** AMラジオ・テープ・DVD/CD再生時には点灯しません。
Q　画像が白黒で乱れる。	A　**リモコンのTVボタンを押して、NTSCに設定してください。**

故障かな？と思ったら　その②

お客様ご相談センターにご相談になる前に、もう一度下記の内容をご確認ください。
ご不明な点があるときは、保証書にある総発売元へお問い合わせください。

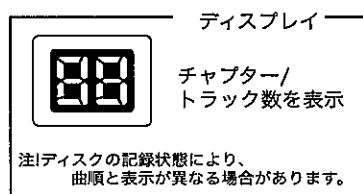
症　状	対処方法
共通	
電源が入らない	・電源プラグをコンセントに入れてください。 ・乾電池が正しく入っているか確認してください。 ・乾電池が消耗していたら新しい乾電池と交換してください。 ・充電電池はご使用になれません。
音が聞こえない	・音量調節をしてください。
音がひずむ	・消音になっていないか確認してください。 ・音量を小さくしてください。 ・本機をテレビや蛍光灯等の電気製品から離してください。
DVD/CD部	
ディスクの再生が始まらない “NO DISC”と表示される 本機に“OP”が表示される	・ディスクが裏返しになっている →文字のある面を上にしてください。 ・本機の切換スイッチを“DVD”に合わせてください。 ・カチッと音がするように、正しくディスクトレイにディスクをセットしてください。（ディスクを軽く手で回転させ、水平に回転するか確認してください。） ・DVDドアーがしっかりと閉まっていることを確認してください。 ・DVDの再生ボタンを押してください。 ・DVDレンズをブロワー（ゴミの吹き飛ばし用ブラシ）で清掃してください。 ・DVDレンズに露（水滴）がついている。 →ディスクを取り出し、DVDドアーを開けて１時間ほどそのままにしておいてください。 ・ディスクが汚れている。→ディスクを清掃してください。 ・ファイナライズ処理（録画したレコーダー以外のプレーヤーで再生できるようにする処理）をされていないDVD-R/RWは再生できません。 ・DVD-R/RWは、ディスクや記録したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。 ・著作権保護技術付音楽ディスクは、再生できない場合があります。 ・VRモードで録画されたDVD-RWは再生できません。
ディスクの映像や音が出ない	・付属のオーディオケーブル（赤･白･黄）がテレビと正しく接続されているか確認してください。
ディスクの映像や音が飛ぶ／正常な動作や表示ができない	・テレビの入力切換が外部入力になっているか確認してください。 ・安定した場所に置いてください。 ・ディスクが汚れている →ディスクを清掃してください。
DVDの音がCDと比べて小さい	・[セットアップ]の[デジタルセットアップ]にある[出力モード]を[RF調整]に設定してください。

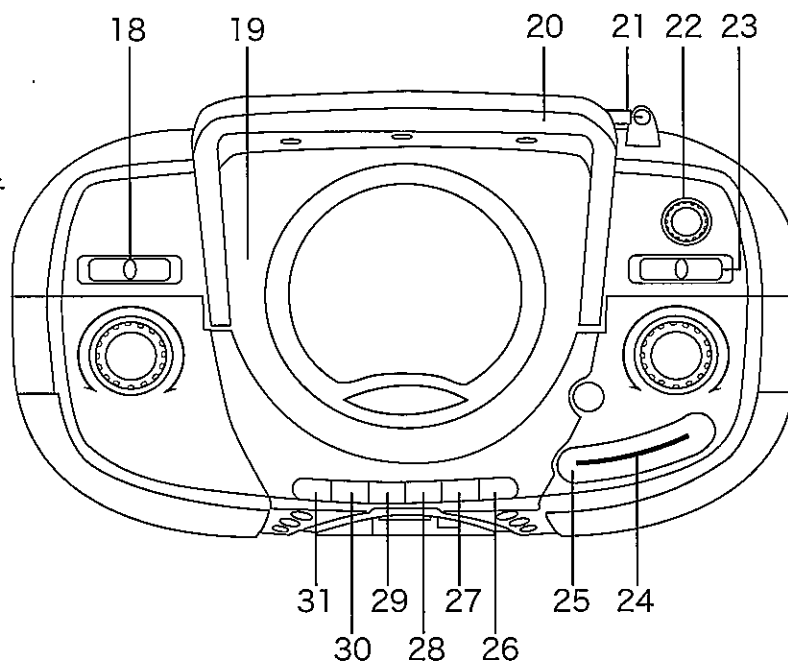
症　状	対処方法
カセットテープ部	
テープが入らない	・テープの露出面を上にして入れてください。
テープが回転しない	・テープをカセットデッキに正しく入れてください。
テープが機械に巻きつく	・市販のヘッドクリーナーでピンチローラーやキャプスタンを清掃してください。 ・テープの弛みを直してください。
早送り・巻き戻しが遅い/回転むらがある	・テープの回転具合を確認し、回転の重いテープは使用しないでください。
再生音が小さい/再生音が割れる/高音が出ない/雑音/音が震える/音が飛ぶ	・市販のヘッドクリーナーでヘッドを清掃してください。 ・新しいテープと交換してください。
録音状態にならない 前に録音されている音が完全に消えない	・カセットデッキにテープが入っているか確認してください。 ・誤消去防止用ツメが折れている →ツメの付いているテープと交換するか、セロハンテープなどでツメの穴をふさいでください。 ・市販のヘッドクリーナーで消去ヘッドを清掃してください。 ・無理に録音ボタンを押すと破損のおそれがあります。
ラジオ部	
雑音が入る	・周波数を正しく合わせてください。 ・アンテナの向きを調節してください。 ・本機の向きを調節してください。
マイク部	
マイクの音が出ない	・マイクコードと本機のマイク出力端子を正しく接続してください。 ・マイク本体のスイッチをオンにしてください。 ・リモコンのカラオケボタンで“オン”に設定してください。（出荷時の設定は“オン”になっています。） ・本機のマイク音量ツマミで音量を調節してください。
カラオケDVDのボーカルが消えない	・リモコンの音声ボタン、もしくはL/Rボタンで“ボーカルなし”に切り換えができます。 ・[セットアップメニュー]の[デジタルセットアップ]にある[ステレオモード]を、[ステレオ]に設定してください。 ・ディスクの種類によって“ボーカルなし”に切り換えられない場合があります。
リモコン	
リモコンで操作できない	・リモコンの電池が消耗していたら､新しい電池と交換してください。 ・リモコンを本機に向けて操作してください。

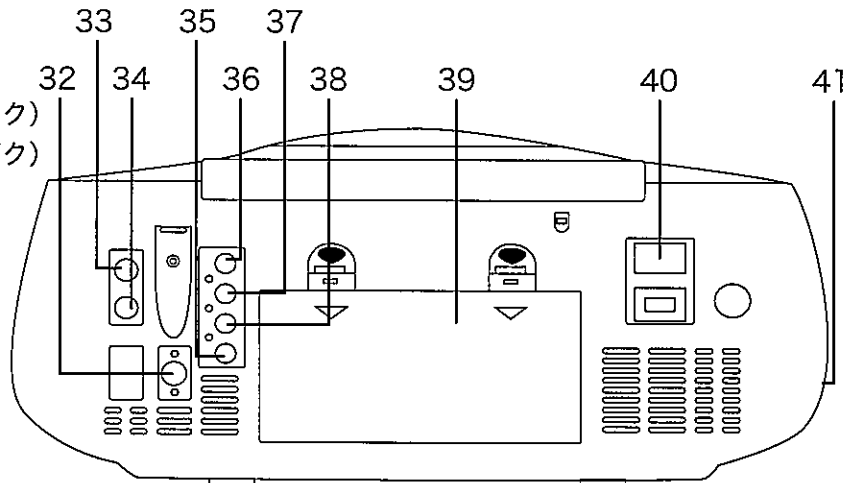
前面

1. 音量調節ツマミ
2. DVD/CD/MP3 早戻しスキップ再生
3. DVD/CD/MP3 Lトラック/Rトラック/ステレオ切換
4. DVD/CD/MP3停止
5. FMステレオインディケーター
6. ディスプレイ
7. リモコンセンサー
8. 電源インディケーター
9. DVD/CD/MP3 再生/一時停止
10. DVD/CD/MP3 繰返し再生
11. DVD/CD/MP3 早送りスキップ再生
12. DVD/CD/MP3 ドアオープン
13. ラジオチューニング
14. スピーカー
15. カセットテープドア
16. 内蔵マイク
17. スピーカー

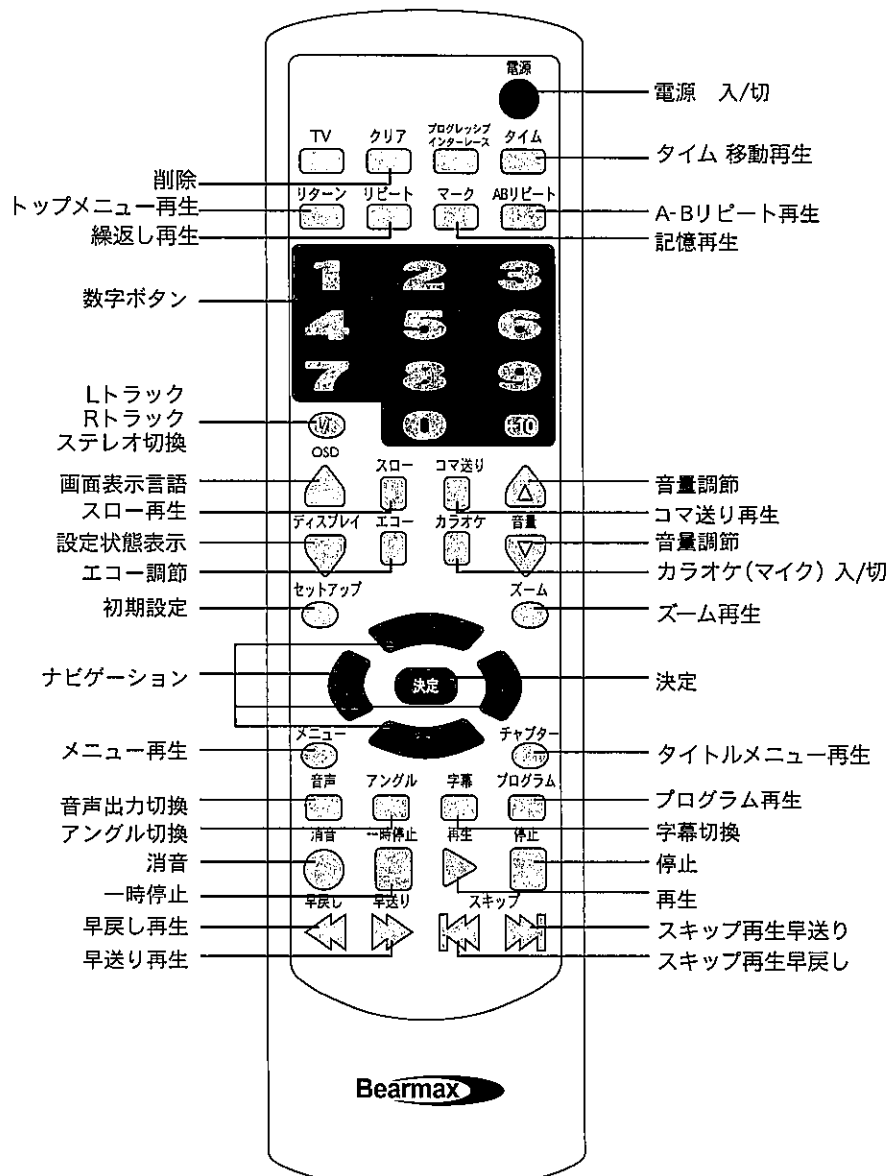
ディスプレイ

チャプター/トラック数を表示

注!ディスクの記録状態により、曲順と表示が異なる場合があります。

上面

18. 切換スイッチ
19. DVDドア
20. ハンドル
21. アンテナ
22. マイク音量調節ツマミ
23. FM/FM·ST/AM切換スイッチ
24. 周波数インディケーター
25. 周波数表示板
26. カセットテープ録音
27. カセットテープ再生
28. カセットテープ巻き戻し
29. カセットテープ早送り
30. カセットテープ停止/取出し
31. カセットテープ一時停止

裏面

32. Sビデオ出力端子
33. マイク入力端子１（600Ωダイナミックマイク）
34. マイク入力端子２（600Ωダイナミックマイク）
35. 同軸音声出力端子（デジタル出力）
36. 右音声出力端子
37. 左音声出力端子
38. 映像出力端子（コンポジット信号）
39. 乾電池カバー
40. 電源コード入力端子
41. ヘッドホン出力端子

リモコン

DVD/CD操作用リモコンです。
本機のリモコン受光部に向けて操作してください。

※クリーニングの前に必ず本機の電源を切ってください。

●本体
乾いた布で拭いてください。汚れがひどいときは、中性洗剤の水溶液に浸した布を固く絞って拭いてください。ベンジン・アルコール・シンナーなどの化学薬品は使わないでください。(変色や変質の恐れがあります。)

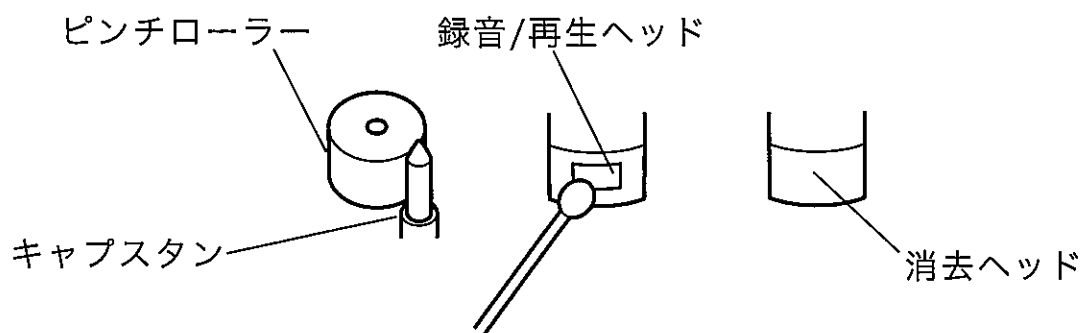
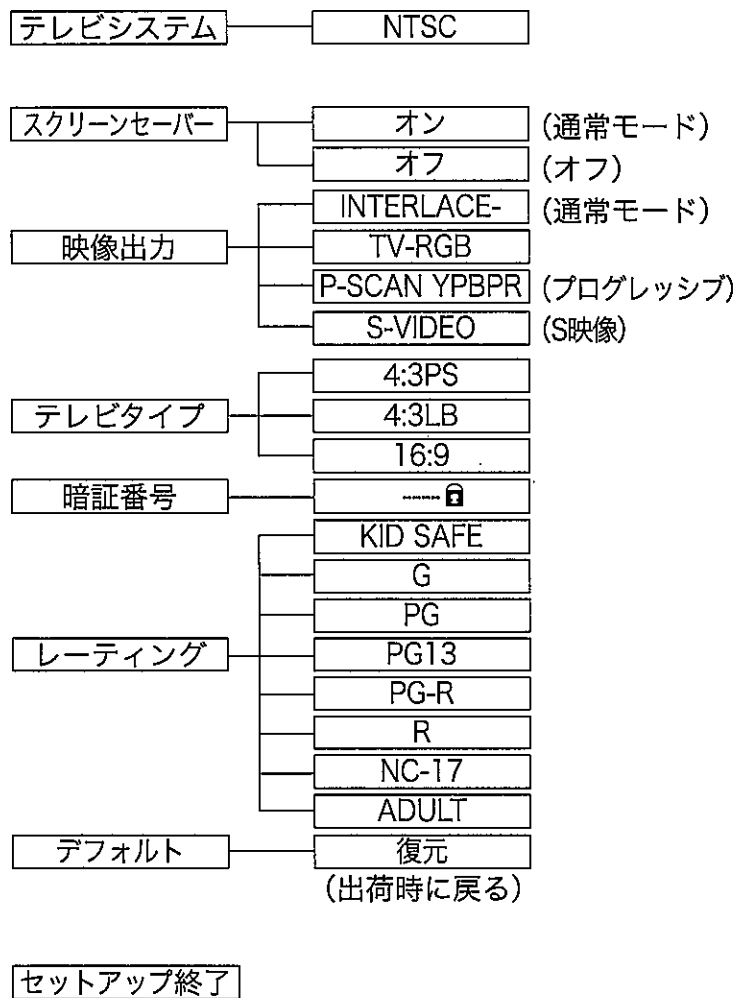
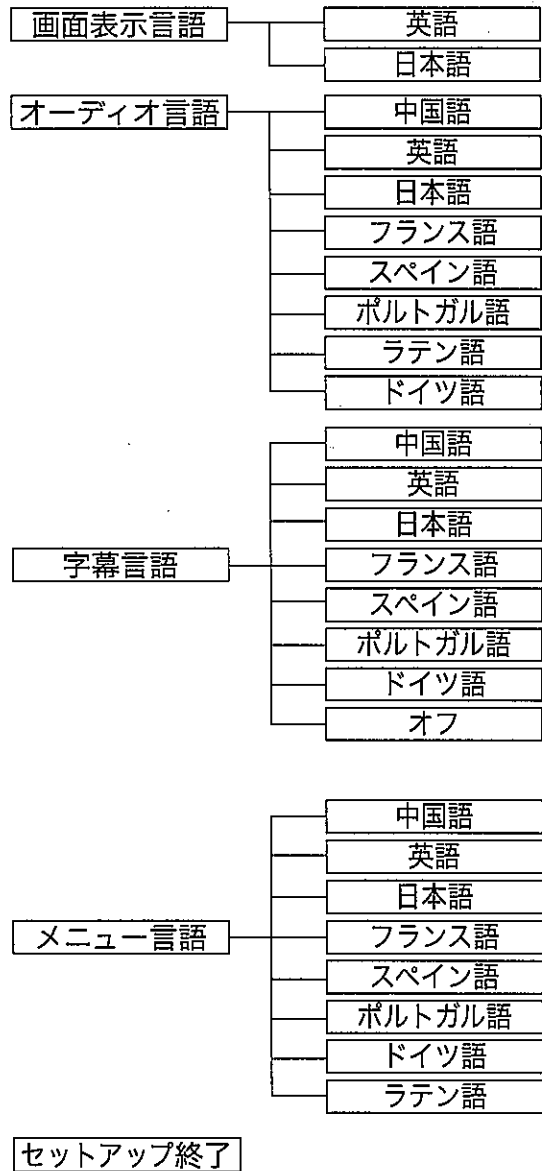
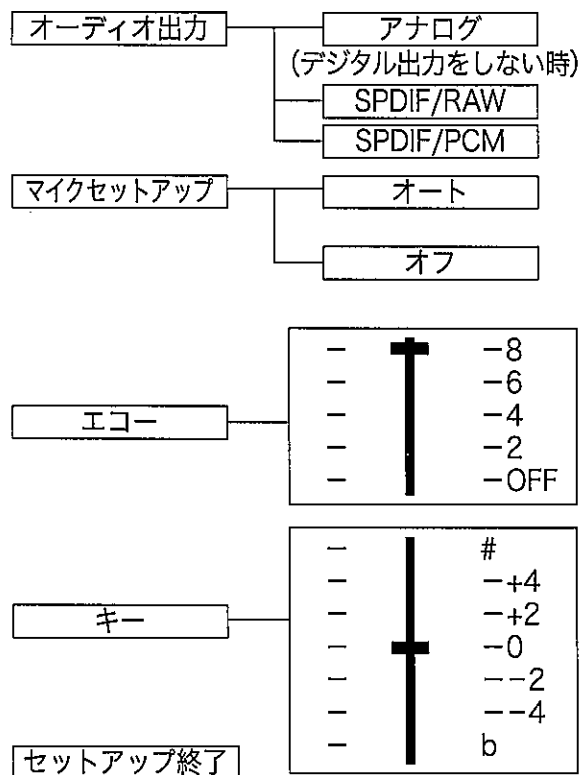
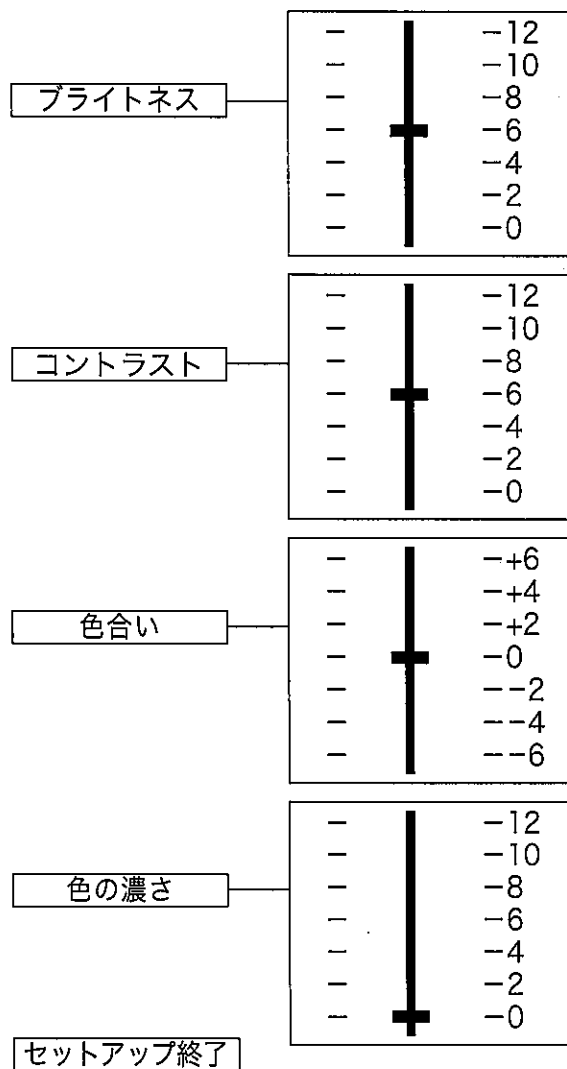
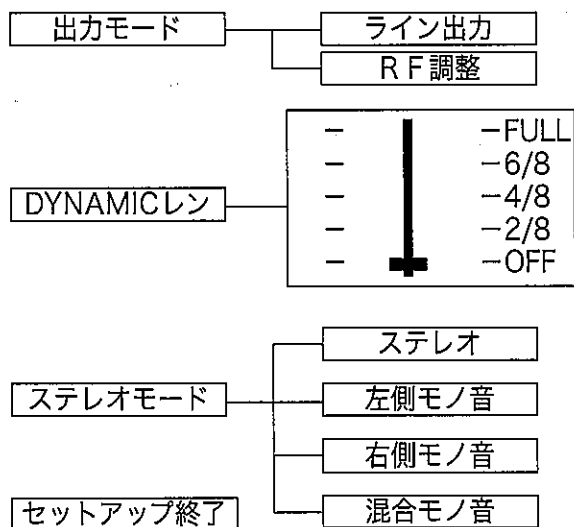
●DVD/CD/MP3プレーヤー・レンズ部のクリーニング
レンズの汚れが原因で音飛びが起きたり、再生ができなくなった場合にクリーニングをしてください。

◎ゴミやほこりがついた場合
市販のブロワーでレンズを2，3回吹き、ブラシでゴミをはき出します。最後にもう一度、ブロワーでレンズを吹いてください。

◎指紋などがついた場合
ブロワーで汚れがとれないときには、市販のレンズクリーナー液を綿棒につけ、レンズの中心から外側に向かって円を描くように拭いてください。

※ご注意
クリーナー液を綿棒につけすぎないようにご注意ください。クリーナー液が本体内部に流れ込むと、故障の原因になります。
レンズは軽く拭いてください。綿棒を強く押しつけると、レンズに傷がつくことがあります。

●カセットレコーダー部のクリーニング
カセットテープを良い音でお楽しみいただくために、ヘッド・ピンチローラー、キャプスタン(カセット収納部)をいつもきれいにしておいてください。これらが汚れていると、音が歪んだり、小さくなったり、録音できない、などの現象が起こります。このようなときは次の手順で清掃してください。

1．停止/取出ボタンを押してカセットドアを開けます。カセットテープが入っているときはテープを取り出します。
2．綿棒に市販のヘッドクリーニング液を少し含ませ、ヘッド・ピンチローラー、キャプスタンをていねいに拭いてください。
3．ヘッド・ピンチローラー、キャプスタンが乾いてから、カセットテープをご使用ください。

【 システムセットアップ 】

【 言語設定 】

【オーディオセットアップ】

- オーディオ出力
  - アナログ（デジタル出力をしない時）
  - SPDIF/RAW
  - SPDIF/PCM
- マイクセットアップ
  - オート
  - オフ
- エコー
  - 8
  - 6
  - 4
  - 2
  - OFF
- キー
  - #
  - +4
  - +2
  - 0
  - -2
  - -4
  - b
- セットアップ終了

【映像出力】

【デジタルセットアップ】

五十音順

主な仕様

＜本体＞

受信周波数：　FM；76-108MHz
　　　　　　　AM；522-1629KHz
周波数特性：　CD；31.5Hz-16KHz
　　　　　　　カセットテープ；250Hz-6.3KHz
　　　　　　　ラジオ；250Hz-6.3KHz
出力端子：　R/Lオーディオ出力端子
　　　　　　コンポジットビデオ出力端子
　　　　　　同軸音声出力端子
　　　　　　S映像出力端子
　　　　　　ヘッドホン出力端子
入力端子：　マイクロホン入力端子1/2
スピーカー出力：実用最大出力2W+2W
電源：　本体：AC100V　50/60Hz　DC12V（単1電池×8本）
　　　　リモコン：DC3V（単4電池×2本）
消費電力：　21W
最大外形寸法(約)：　本体；363(L)X168(H)X208(W)mm
重量(約)：　3.5Kg

＜付属品＞

リモコン、電源コード、ビデオ/オーディオケーブル、取扱説明書

保証書は必ず「お買い上げ日・お買い上げ店名」などの記入をご確認の上、販売店からお受け取りください。
以下の内容をよくお読みいただいた後、大切に保管してください。

保　証　書

本商品が故障した場合は、下記に明示した期間、及び条件の下において無料修理あるいは交換をいたします。

商品名	DVD/CDラジカセ DVD-8150
保証期間	お買い上げ日から１年間　（お買い上げ日　　年　　月　　日）
お買い上げ店	
お客様お名前	
ご住所	
お電話番号	
故障の症状	

[無料保証規定]

・正常な状態(取扱説明書に従った状態)で故障した場合には、本体商品を無料で修理又は交換させていただきます。
・保証期間はお買い上げ日より1年間となります。
・故障の場合は本保証書に状況をご記入いただき、商品と一緒にお送りください。
・使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障、損傷は保証の対象外となります。
・お買い上げ後の輸送、落下などによる故障、損傷は保証の対象外となります。
・火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、指定以外の電源(電圧、電流、周波数)による故障および損傷は保証の対象外となります。
・保証書にお買い上げの年月日、お買い上げの販売店名の記入がない場合は保証の対象外となります。
・この保証書は日本国内においてのみ有効です。
・この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※本保証書は保証規定により、無償修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※お客様の個人情報は、商品に関するご質問や故障の際、お客様と連絡を取るためにのみ使用するものです。

輸入･総発売元:
株式会社 クマザキエイム
〒222-0013　横浜市港北区錦が丘12-17

TEL　：045-401-7486
FAX　：045-435-0057
E-mail　：info@kumazaki-aim.co.jp
URL：http://www.kumazaki-aim.co.jp

DVD8150　200609